

伊豆総合高校写真部とコラボ中!
裏表紙へ!!

寄り添うまちと
いつまでも

本号の
ポイント!

令和4年決算審査 p4
私たちの税金はどう使われた?

議会は可決・認定・同意をしました。

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更）
	専決処分の報告について（市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）【3件】
	専決処分の報告について（物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）【2件】
	専決処分の報告について（伊豆市職員の給与に関する条例の一部改正について）
	令和4年度伊豆市健全化判断比率の報告について
	令和4年度伊豆市資金不足比率の報告について
決算	令和4年度伊豆市決算 ○一般会計歳入歳出決算の認定について ○各事業会計剰余金の処分及び決算の認定について ・水道事業・簡易水道事業・温泉事業（剰余金の処分なし）・下水道事業（剰余金の処分なし） ○各特別会計歳入歳出決算の認定について ・公共用地取得事業・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・7財産区
	令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）
	令和5年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）
	令和5年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第1回）
条例	伊豆市議会議員及び伊豆市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
	伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について
	伊豆市達磨山観光施設条例の制定について
その他	財産の減額譲渡について
	財産の取得について【2件】
	伊豆市沼津市衛生施設組合規約の一部を変更する規約について
	市道路線の認定について
	伊豆市監査委員の選任について
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について
発議	伊豆市議会議員政治倫理条例の一部改正について
	伊豆市議会基本条例の一部改正について

賛否が分かれた議案	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	星谷和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠
財産の減額譲渡について	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
財産の取得について（達磨山観光施設）	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○

※議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対

令和5年伊豆市議会

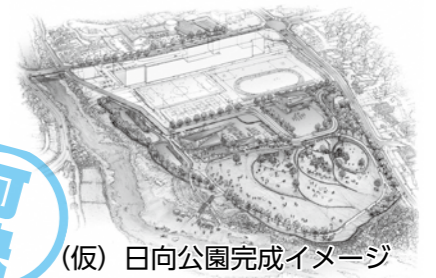
7月臨時会

会期：令和5年7月20日（木）

「市道路線の変更」
上白岩の2線の変更



「工事請負契約の締結」
（仮）日向公園整備工事



（仮）日向公園完成イメージ

9月定例会

会期：令和5年8月28日（月）～9月22日（金）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
8/28 本会議初日 全員協議会	29 全員協議会	30 本会議2日目 （一般質問）	31 本会議3日目 （一般質問）	9/1	2	3
4 本会議4日目 （議案質疑）	5	6 連合審査 （総務経済委 員会所管分）	7 連合審査 （教育厚生委 員会所管分）	8 総務経済委員会	9	10
11 教育厚生委員会 議会広報委員会	12	13	14	15	16	17
18 敬老の日	19 議会運営委員会 議会報告会 実行委員会	20	21	22 本会議5日目 （最終日） 議会広報委員会	23	24



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案



- ・議案第49号～64号 令和4年度各会計決算の認定
- ・議案第65号 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）
- ・議案第68号 財産の取得について

令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）

詳細 ※1万円以下は切り捨て

諸支出費：基金費 【5億1,383万円】
（前年度決算剰余金に係る財政調整基金積立金の増）

衛生費：保健衛生総務費 / 予防費 【2億9,432万円】
（市内公的病院等補助金 他）

民生費：福祉施設管理費 他 【6,997万円】
（中伊豆交流センター温泉ボイラー交換工事 他）



9/6・7 連合審査



令和4年度伊豆市一般会計決算

質疑

(総務経済委員会所管)

Q 包括的アウトソーシング事業を1年間行った、総合的な効果は。また、サービス低下、苦情はなかったのか。

A 1年を通して、各課と委託事業者で毎月打ち合わせをしました。委託業者は、事業や事務を覚えることを優先に、職員と打ち合わせをしながら行っている状況です。その中で、市民からサービス低下の話が無かったことが成果だと考えています。

Q アウトソーシングを進める計画の中で、財政負担をどう考えるか。

A 事務費などは委託することで上乗せにはなりません。委託事業者の習熟度、事務レベルが向上すれば職員の負担

が減り、いずれは職員を減らすことに繋がるため、財政面でも総合的なところで減らすことができるかと考えています。



伊豆市役所本庁窓口

Q 道の駅「伊豆月ヶ瀬」管理事業地域振興施設は、具体的にどのように使われていたのか。

A 地域振興施設の建物は、地元の方はあまり使われていませんが、防災訓練などでは使っていただいています。

質疑

(教育厚生委員会所管)

Q 新中学校整備事業の進捗状況は。

A 材料高騰や調達が難しかったことから、設計を早め入りも早めにした結果、当初よりも円滑に進んでいます。



伊豆中学校建設現場

Q 民生委員活動事業について、民生委員の確保状況や困難事例の有無は。

A 民生委員の定員は、110名ですが、4地区に欠員があり、現在活動している民生委員は106名です。

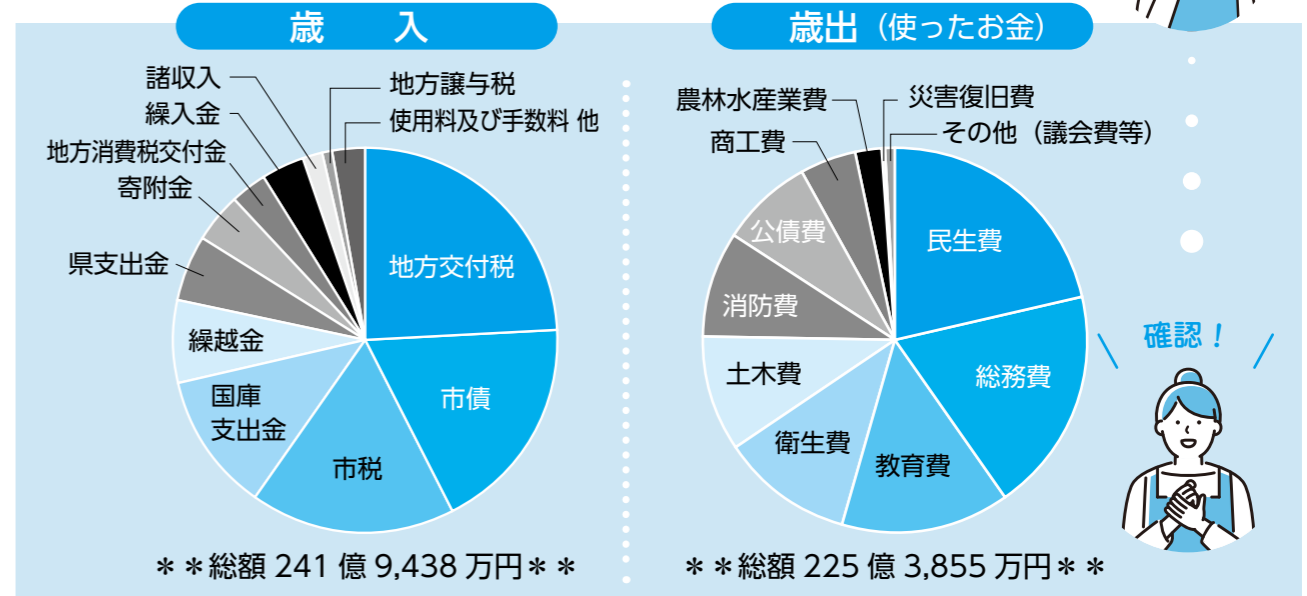
Q 美術館建設推進事業の進捗状況は。また、美術館建設推進委員会のホームページ更新は。

A 美術館を、単体での建設から複合施設建設に変更する方針が了承されたので、その準備をしています。委員会では議論が始まってからホームページの更新はしていませんでしたので、10月を目途に検討内容を公表したいと考えています。

令和4年度決算 税金の使いみちをチェック

何に使われた?

*** 一般会計歳入歳出額 ***



移住体験ツアーのようす
総務費(27億1,007万円)

- ・包括的アウトソーシング事業 (9,399万円)
- ・移住定住促進事業 (7,232万円) 他



牧之郷駅前
土木費(21億6,639万円)

- ・牧之郷駅周辺整備事業 (1億5,883万円)
- ・公園整備事業 (2億6,661万円) 他



伊豆中学校完成イメージ
教育費(32億1,765万円)

- ・新中学校整備事業 (19億7,833万円) 他

令和4年度各会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
一般会計	241億9,438万円	225億3,855万円
特別会計・企業会計(税抜き額)		
公共用地取得事業	142万円	142万円
国民健康保険	39億4,531万円	38億9,349万円
後期高齢者医療	4億9,751万円	4億8,119万円
介護保険	39億663万円	36億9,360万円
水道事業	5億4,447万円	5億2,651万円
簡易水道事業	1億4,728万円	1億4,017万円
温泉事業	7,036万円	7,963万円
下水道事業	12億4,410万円	12億5,301万円
財産区(7財産区)	1,134円	493万円
総合計	345億6,280万円	326億1,250万円

※万円未満を四捨五入しています。
※温泉事業・下水道事業の不足額は、補填されています。

基金とは?

市の預貯金のことです。将来にわたり安定した事業展開を行えるよう、積み立てています。



令和4年度伊豆市基金総額 (一般会計のみ)

- 積立額 …… 14億6,763万円
- 取崩額 …… 8億5,726万円
- 年度末現在高…101億462万円





9/8・11 常任委員会

総務経済委員会

◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第3回)

質疑

Q 水産業協同施設整備事業補助金の全体像と経緯、事業の背景の説明を。

A 伊豆漁業協同組合土肥支所が営業していたフィッシングパークTOIが、高潮災害の影響により営業不能になったため、施設再建を計画している案件です。県の補助事業と同額になる経費の3分の1、700万円を上限とした補助事業を今回予算計上します。

◆財産の取得

質疑

Q 達磨山観光施設は5年後に民間へ売却をする計画となり、約5千万円の眠った財産になるのでは。

A 市の取得は一時的なものです。民営化されるまで直

接的な利益は生みにくいですが、ただし、収支の部分では、年間の人件費などは削減されると考えています。今後の民営化を見据え、民間譲渡をする事業者を決めてから指定管理をしていただきたいと考えています。事業者が独自のアイデアなどで収益を生むことで、増収が見込まれると考えています。



達磨山観光施設

教育厚生委員会

◆令和4年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

質疑

Q 徘徊高齢者家族支援サービス事業委託料はどのような事業か。

A GPSを利用した事業で、持っている方がどこにいるかわかるというシステムです。

◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第3回)

質疑

Q 市内公的病院等補助金の

内容と補助先はどこか。
A 運営資金の補助(人件費など)で、補助先は伊豆赤十字病院と中伊豆温泉病院です。

Q 「医療・福祉・司法」なんでもかんでも相談会の内容説明を求む。

A 市民の相談内容に応じて専門職が加わり、生活の様々な相談を受けています。令和4年度から実施し、今年度は年6回、事業を実施しています。

医療 福祉 司法

なんでもかんでも相談会 予約制

心配ごととお聞かせください！
病気や障害のこと、法律のこと、仕事や生活のこと、お子さんの発育に関することその他の困りごと何でもご相談ください！
外国人の方、専門職の方もお気軽に！

相談は無料です

伊豆会場：修善寺生きいきプラザ 1階
午後1時30分～午後3時30分
清水会場・菊川会場・下田会場・東伊豆会場・伊豆会場 同時開催

令和5年11月25日(土)

お問い合わせ先
伊豆市市民生活課 電話：054-344-2050
〒424-0003 伊豆市清水区藤川2-12-1

回覧される
なんでもかんでも相談会のチラシ

委員会の概要書はこちら▶



「議案68号」討論

賛成討論 ◆浅田 藤二 議員

私たちは常に俯瞰の目を持ち、1億円の減額譲渡という1部分だけで判断するのではなく、なが市民の役に立つのかをトータルで判断する必要があると考えます。経済効果、雇用の確保、現在も地域貢献されていること、そして今後の確実な将来的投資に期待して賛成いたします。

反対討論 ◆杉山 武司 議員

譲渡に反対するものではありませんが、旧天城湯ケ島支所等の1億円を超える減額譲渡するこの議案の論点は、一点目は減額の根拠とそのプロセスです。二点目は主権者である市民への説明義務です。減額の根拠は不明瞭で結論に至った公文書としての会議録も作成していないなど意思決定のプロセスも透明性に欠けています。減額譲渡の理由をなぜ市民に説明をしなかったのか。以上が私の反対の理由です。

※議案68号には、その他4件の反対討論がありました



録画配信はこちら(9月22日本会議)

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

検索 からご覧ください。



Android スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone アイフォン

カメラアプリを起動してQRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

質問 Question 修善寺駅周辺まちづくり基本構想への期待



下山 祥二 議員

修善寺駅周辺まちづくり基本構想は、伊豆市の鉄道の玄関口である修善寺駅周辺の慢性的な渋滞解消、住民の安全性や利便性の確保、そしてにぎわいの創出を目的とする未来志向のまちづくり構想であり大いに期待するものです。現状の駅周辺の課題と対策を共有しつつ、今後の伊豆市の未来を大きく左右する本構想について質問します。

答 ターミナル駅として、駅前の公共性と機能の充実を実現しようという考えです

市長 修善寺駅周辺整備を核とするまちづくり構想の本質は、修善寺駅を伊豆箱根鉄道駿豆線の真のターミナルに位置付けるといことです。

具体的には再開発は、県道伊東修善寺線の改良により、駅への進入を容易にすること、修善寺橋の増築又は架け替えと横瀬三叉路の改良です。

駅前商店街の活性化も必要ですが、多くの店舗が住宅として改修されています。駅前の公共性をご理解いただき、必要な機能を充実させるため、話し合いを進めたいと考えています。

駅北は道路形状が良く、金融機関や店舗もそろっています。行政サービスと商業サービスをどのように組み合わせ、再開発するのか、今後の大きな課題と認識しています。



動画はこちら ※他の質問あり



永岡 康司 議員

太陽光発電事業計画と訴訟

「伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」第8条第1項第5号の地元自治会等への説明に係る報告書、第6号の近隣関係者への説明に係る報告書の提出は、絶対条件ですか。不同意の対象とならないのに、同意しないことで住民に対し訴訟を提起することはできませんか。

この条例とFIT法との関連性はありますか。

答 各届出はすべてが整ってから受理することになっていきます。

建設部長 各届出は、条例第8条第1項第1号から第9号までの項目すべてが整ってから受理することになっていきます。起訴については、一般的に一方の相手方が、不当に権利を侵害されていると判断されれば、訴えを提起することは可能であると思われれます。

FIT法との関連ですが、事業者が太陽光発電を行うには、事業の許認可が必要で、条例の届出は、FIT法に準じた必要な要件を定めています。

※FIT法・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法



動画はこちら ※他の質問あり

市内小児科不足への市民の不安解消のために



黒須 淳美 議員

「少子化緊急対策」で幕を開けた令和5年度。保育料無償化など、近隣市町をリードする様々な支援策には、本気度が表れ期待が膨らみます。

しかし、小児科不足という現実が切実な課題です。伊豆市における小児科のあるべき姿、そして市民の安心につながるような対策をどう考えますか。

答 こども医療電話相談事業「#8000」なども活用ください。

健康福祉参事 小児科のあるべき姿は、休日・夜間に対応できる、身近なかかりつけ医があることが、理想であると考えます。

現実的には、現況の医療資源を最大限に活用し、伊豆市の医療機関だけでなく、周辺市町なども含めたかかりつけ医をもつことや、休日・夜間の子どもの症状の対処に迷ったときに、小児科医師、看護師に電話できる、こども医療電話相談事業「#8000」などの活用をいただければと考えています。



動画はこちら ※他の質問あり



三田 忠男 議員

病院移転後のバス路線の再編を問う

中伊豆温泉病院移転に伴い、バス路線が再編されると予想されますが、現路線の小川地区や、新たな下白岩地区の住民から、直接意見や要望などを伺っているのか。バス停の廃止や新病院への乗り入れはあるのか、通学通勤への影響はあるのか、地区の集会所で意見集約を行わないのかなど伺います。

答 今回の再編は暫定対応で、中学校開校に伴う路線検討を改めて行います。

総合政策部長 現況路線に直接影響のある皆様に対し、6月に2回説明会を行いました。要望や意見としては、路線存続に対する安心の声があった一方、小学生の登下校の時間帯を考慮して欲しい、などの意見がありました。

バス停の廃止は、現中伊豆温泉病院と上小川の2か所、一方、新設は新病院の敷地内に予定し、乗り入れをする形で計画を進めています。また、通学の影響はないと考えています。

今回の中伊豆温泉病院線の再編は、病院の移転に伴う暫定的なものであり、新中学校開校に伴う路線検討を別途改めて行うこととしています。



動画はこちら ※他の質問あり

在宅医療を問う



小川 多美子 議員

長い人生のいずれの日か、誰もが人生の最期を迎える日は来ます。住み慣れた自宅で最期を迎えたいと考える人が多いようです。

市内では何人くらいが訪問診療を利用していますか。また、自宅では、どの程度までの医療ケアが受け入れられますか。自宅で最期を迎えた時、看取りのお世話してもらえますか。

答 医師の判断により、訪問診療や訪問介護が受けられます。

健康福祉参事 在宅医療の訪問診療を受けているのは90名ほどです。

手術や特殊な環境下で行われる処置は、医療機関へ出向く必要がありますが、それ以外の処置については、主治医や訪問診療医と連携して対応することが可能です。

自宅で最期を迎える場合は、訪問診療医の判断のもと、訪問介護師の対応が可能です。24時間体制で電話連絡ができ、必要時には訪問し、支援を受けることができます。お亡くなりになられた後は、訪問看護師が身なりを整える整容などの処置をしてくれます。



動画はこちら



星谷 和馬 議員

総務経済委員会所管施設について伺う

去る6月28日、3か所を視察しました。

①伊豆縦貫自動車道、②萬城の滝周辺、③だるま山高原です。持続可能な伊豆市を維持するには、観光客、インバウンド等を増加させる施策が必要です。①は国の事業、②③は伊豆市の事業です。②③の市としての取り組み、課題を伺います。

答 施設整備や民間ノウハウを活用して魅力ある施設にしていきたいです。

観光商工課長 萬城の滝は、以前は裏見の滝とも呼ばれ、裏側から見ることで安全上の理由から通行禁止とされています。ライトアップの整備や展望デッキ設置など、魅力を向上させ多くのお客様が訪れることで、地域振興につながるものと考えています。

だるま山観光施設の収益を上げるためには、集客力や営業力、情報発信など、民間のノウハウが必要と考えています。今後、県から譲渡を受け、民営化に向けた作業を進めていくこととなります。民間譲渡するまでの間は、指定管理者制度により、民間のノウハウを活用した事業を行い、収益を上げられるような体制にしていきたいと考えています。



動画はこちら

外国資本の市内の土地の買収実態は



杉山 武司 議員

近年、外資の土地買収が活発化していますが、WTOの協定を批准した我国では、外資の土地買収は合法です。それを阻止することもできる法は未だ未整備で、様々な安全保障に弊害が及ぶ恐れがあります。管理放棄した農地や山林などが外資に渡ると、水源などの重要な社会インフラに甚大な影響が及びます。市内の外資の買収実態を伺います。

答 農地や山林などは、外資による土地取得の該当はありません。

農林水産課長 市が把握できる情報として、農地は2017年から現在に至るまで、山林などは2006年から現在に至るまで、それぞれ外資による土地取得について該当はありませんでした。

国土利用計画法に基づく届け出が必要な土地に関しては、2004年の合併時から現在に至るまで、届出者の住所は全て国内となっているため、外資系の企業かどうかの判断はできない状況です。



動画はこちら ※他の質問あり



総務経済委員会 行政視察 (7/12~14)



報告書はこちら ▲

宮城県東松島市



岩手県紫波郡矢巾町



岩手県釜石市



岩手県盛岡市



【行政視察報告／総務経済委員長 波多野 靖明】

宮城県東松島市、岩手県釜石市では震災復興後のまちづくりや、持続可能な観光地づくりの視察をし、同県矢巾町では住民の理解、合意形成による水道料金改定からフューチャーデザインの取組みを視察しました。盛岡市では、ニューヨークタイムズ「2023年に行くべき52カ所」に選ばれたまちづくりと持続性のある観光政策を学ぶことができました。伊豆市も豊かな自然、風景、歴史や文化、伝統、地域の持つ風土を大切にしながら「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりをしていきたいと思ひます。

伊豆市議会だよりアンケート集計結果

アンケート実施期間

約1年間

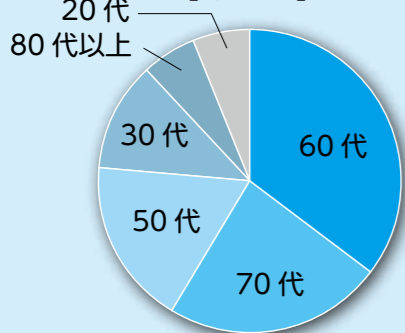
(令和4年8月1日～令和5年8月31日)

回答件数

17件

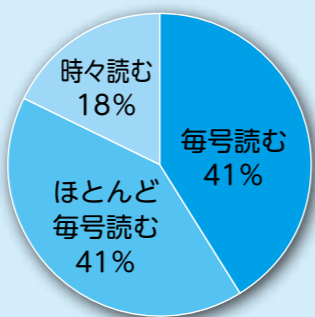
(LoGoフォーム)

【年齢】



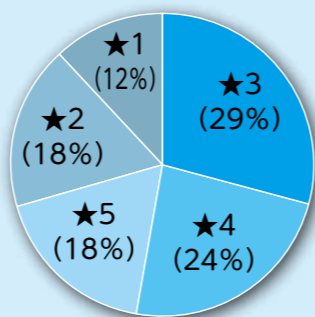
※10代・40代は回答0

【どのくらい読んでいるか】



※他の項目は0回答

【全体的な評価】



★5段階で評価を表す

【主なご意見・ご感想の抜粋を紹介】

- ・QRコードや写真が多くありわかりやすい
- ・全面カラーだとよりわかりやすい
- ・2月発行号で新年の挨拶は季節外れでは
- ・少子化対策（多くのご意見がありました）
→ご意見は関係部署にも共有しています
- ・表紙の写真（多くのご意見がありました）

【広報委員長から】

議会だよりアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。委員会では紙面の充実や読みやすさを図るため、いただいた意見を参考に新しい取り組み等を積極的に行い、分かりやすく開かれた議会活動を皆様にお伝えいたします。これからも魅力ある紙面づくりに努めてまいります。

質問 Question

認知症になっても安心して暮らせる社会を



動画はこちら

健康福祉部 参事 認知症に対する理解の促進をはじめ、総合的な対策が必要だと考えています。そのため現在、認知症の方や家族を支援する「認知症サポート」の養成をはじめ、理解促進のための認知症講演会の開催や、高齢者支援の総合窓口として、地域包括支援センターの周知を進めています。今後認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができ、住み慣れた地域づくりに取り組みたいと考えています。

答 住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる地域づくりに取り組みたいと考えています。認知症高齢者は、2025年には65歳以上の5人に一人、約700万人に増加するといわれています。認知症の人や家族が、安心して住み慣れた地域で暮らせる地域共生社会を築くため、認知症に対する理解の促進や偏見の軽減、相談体制の整備などの、総合的な対策をどのように進めていきますか。



杉山 誠議員

質問 Question

部活動の地域移行の方向性は



動画はこちら ※他の質問あり

教育長 現在の取り組みとしては、スポーツ団体や指導者等にアンケートを行い、地域との連携の可能性について調査しました。中学生の参加について様々な意見をいただきましたが、現時点では部活動の全ての種目で、スポーツ団体等との連携は難しいのではないかと考えています。目標とする仕組みや形の全体像は固まっていますが、現在、部活動を行っている生徒には継続の機会を確保しつつ、今後は社会教育、生涯学習の観点から、子どもたちが様々な活動を体験する場の検討が必要であると考えています。

答 子どもたちが様々な活動を体験する場の検討が必要と考えています。部活動の地域移行については、現在の取り組み、目標としている仕組みやかたちをご説明ください。



浅田 藤二議員

質問 Question

静岡県地震・津波対策 AP 2013の成果

危機管理監 静岡県の第4次地震被害想定を踏まえ、1人でも多くの市民の命を守るため、「自助」「共助」「公助」の相互連携のもと、想定される被害をできる限り軽減することを目指し、109のアクションを掲げました。その結果、72のアクション、約7割が目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症の影響やハード対策など、完了までに長時間を要し、目標達成できていないアクションや訓練、啓発活動など、常に継続が必要なものなどは、アクションプログラム2023に継承し、さらなる減災効果を高めていきます。

答 常に継続が必要なものは、アクションプログラム2023に継承し、さらなる減災効果を高めています。静岡県では、第4次地震被害想定及び地震・津波 AP（アクションプログラム）2013を平成25年6月に公表しました。このプログラムは、人命を守ることを最も重視し、推計された被害を8割減とするために、今後10年間で実施するハード・ソフト施策を取りまとめられています。この10年間の伊豆市の取り組みの成果を問います。



小長谷 順二議員



動画はこちら ※他の質問あり



表紙写真の紹介！

伊豆総合高校 写真部2年 足立 悠樹 さん

修善寺大掃除の最中を撮りました。掃除をすることで、いつまでもこのまちと生活できるようにと思い、このタイトルにしました。また、この写真によって多くの方がより地域を清潔にしようという気持ちを持っていただけたらと思いました。

アンケートを実施中！

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webから回答

ここから1分程度の簡単なアンケート



✓ 前号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。（※ 回答一部抜粋）

- ・ 将来を考えた無駄のない金の使い方をして欲しい。（★★★★☆ 60代 田中様）
- ・ 広報紙は画像も内容もわかりやすいものにしてもらいたい。（★★★★☆ 50代 男性）
- ・ 毎回、理解しやすく、拝見しています。（★★★★★ 温泉区 70代 K.N様）
- ・ 少子化対策について意見があったが、その意見と併せ、労働環境の改善・是正も少子化対策に有効ではないか。労働の諸問題を是正することで各家庭の希望も叶え、市外からの労働者の流入も望めると考える。各企業の労働環境の精査・是正を強く求めたい。（★★★★☆ 20代 ひも様）

広報委員会 委員から

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。前号に引き続き、少子化対策についてのご意見をいただきました。「子育て全力宣言」における支援施策と共に、働き方や労働環境など市民生活に直結する課題として、提言を続けていきたいと思っています。

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
11/27	28 本会議初日 議会広報委員会	30	12/1	2	3	
4 本会議2日目 (一般質問)	5 本会議3日目 (一般質問)	6 本会議4日目 (一般質問)	7	8 本会議5日目 (議案質疑)	9	10
11 総務経済 委員会	12 教育厚生 委員会	13	14 議会運営委員会 (予備日)	15	16	17
18	19 本会議最終日 議会広報委員会	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※日程は変更となる場合があります

9月 議会広報



8月25日の FMIS生放送で、間野みどり議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は11月末に12月定例会のお知らせをします。

編集後記

夏の高校野球大会は慶応高校が栄冠を手に入れました。優勝校の森林監督は「高校野球の新たな可能性、多様性」と、仙台育英高校の須藤監督は「人生はいつも敗者復活戦」という名言を残しました。

議会だよりの表紙の写真は76号から伊豆総合高校写真部の皆さんにご提供いただいています。幅広い世代の皆さまに分かりやすく読んでいただけるよう努めてまいります。

議会広報委員 小長谷 順二

議会傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができ、生中継と録画配信も行っています。



▲アクセスはこちら

お問合せ先（議会事務局）

Tel. **0558-72-9906**